

平成 25 年度（第 61 期）事業報告

本財団は、公益財団法人として事業を行って、2 年が経過した。平成 25 年度も本財団の理念である「公益性を重んじ、難治性疾患への取組、その他疾病予防の推進」を掲げ、公益事業を展開し、目的達成のため渾身の努力を傾注した。

現在、TPP の政府間交渉が行われており、国益のぶつかり合いの中、その行方が注目されている。医療界においても TPP がどのような影響をもたらすのか、地域医療・国民皆保険制度等への弊害も危惧されている。こうした経済状況の中、医療提供体制の議論において在宅医療の充実、地域包括ケアシステムの構築、医療・介護機能の再編が進められ、政府予算もその点に重点を置いている。

このような状況のもと、本財団は、平成 25 年度事業計画に従い、「福祉」と「医療」を一体のものと考え、「福祉医療」の実践として、患者や受診者を中心に事業を継続して行い、公益的存在であることを貫いてきた。

本年度も、定款に定めるとおり公益・収益の区分けを図った事業について年間を通して、全職員が一体となって事業・業務を実施、充実させた。

以下に平成 25 年度に実施した事業を報告する。

I. 診療部（中央診療所）

診療部は、地域住民の健康管理を目的とした一般外来診療を行うとともに、病気の予防、病気の早期発見を目的に行ってきた健康管理部の健康診断において、要精査あるいは要治療と判定された受診者を対象に外来診療を行った。また、喘息、間質性肺疾患（サルコイドーシス、間質性肺炎、膠原病肺）、睡眠時無呼吸症候群、循環器、肝臓病、膠原病・リウマチ、神経内科、消化器、アレルギーなど専門医が診療を担当する専門外来、また、禁煙指導外来、栄養指導外来を設置して高度な専門診療に当たった。更に、X線撮影装置のデジタル化及びCT撮影装置並びにエコー診断装置を更新し、精度向上を図った。

1. 外来患者数

平成 25 年度患者数（健康保険・自費）は 18,073 人（前年度 18,447 人、前年度比 98.0%）であった。健康保険種別の患者数、健康保険診療患者の新患、再来数は表 1、表 2 に示した。

2. 社会福祉診療の状況

(1) 低所得者、要保護者等の生計困難者に診療費の減免を行った。平成 25 年度の取扱件数は、1,606 件（前年度 1,853 件、前年度比 86.7%）で、診療費の減免額は 2,256,640 円（前年度

2,256,030 円、前年度比 100.0%) であった。

(2) 無料健康相談の取扱件数は 76 件 (前年度 60 件、前年度比 126.7%) であった。

Ⅱ. 健康管理部 (中央診療所)

健康管理部は、病気の予防、病気の早期発見を目的に、健康診断、健康指導を主とする事業を行った。加えて、契約企業の産業医としての産業医活動を行うとともに、講演会活動ならびに研修会へ職員を派遣し、健康管理に対する理解向上にも努めた。

1. 健康診断

平成 25 年度健康診断 (出張および来所) の実施件数を表 3 に示した。総数は 85,407 名 (前年度 84,636 名、前年度比 100.9%) であった。

2. 健康指導

(1) 産業医活動

中央診療所は各種事業所と産業医としての契約を結び、担当医師が定期的に出向き、職場の安全衛生管理、衛生教育、労働者の健康障害に対する対応等を行うとともに、事業主・衛生管理者に対しての指導・助言を行い、個人の健康相談にも応じた。産業医契約事業所数は 41 であった。

(2) 講演活動

- ・ 泉 孝英：「石綿による健康障害」. 建設業労働災害防止協会京都府支部 石綿主任講習 2013. 3. 14 (第 1 回)、2013. 11. 14 (第 2 回) 京都
- ・ 泉 孝英：「社会人と健康の話」. 平安女学院第 1 回健康セミナー. 2013. 8. 21. 京都
- ・ 泉 孝英：「新社会人と健康」. 京都ホテル新入社員研修 2014. 3. 28 京都

Ⅲ. 臨床研究センター

臨床研究センターは、診療所の健康診断受診者、患者を対象として、その得られた臨床成績の検討を行うとともに、成果を健康管理、診療の場にフィードバックすることを目的とした研究事業を行った。現在、主たる研究対象はサルコイドーシス、間質性肺炎、膠原病等の各種疾患であるが、生活習慣病対策を含めての広範な研究を展開した。

1. 患者に対する啓蒙活動、医師の勉強会

(1) 在宅酸素友の会 第 8 回ミーティング (平成 25 年 4 月 14 日、ハートピア京都)

講演 ①「低酸素ーなぜなるの? どうすればいいの?」

②「もう一度学ぼう在宅酸素療法」

I. 在宅酸素療法について

II. 在宅酸素療法と上手につきあうために

参加 患者及び付添者 26 名、その他 3 名、本財団スタッフ 36 名、計 65 名

(2) 第 9 回サルコイドーシス患者・医療関係者交流会（平成 25 年 7 月 7 日、ハートピア京都）

講演 ①「サルコイドーシスの神経・筋肉病変」

②「心エコー検査からみたサルコイドーシスの心病変」

③「サルコイドーシス：メトトレキサートによる治療—肺病変・心病変」

参加 患者及び付添者 76 名、サルコイドーシス友の会 4 名、その他 2 名、本財団スタッフ 28 名、計 110 名

(3) 第 6 回健康塾（平成 25 年 10 月 5 日、京都文化博物館）

講演 ①「丈夫で長生きするために」

参加 健診事業所・患者・一般 48 名、本財団スタッフ 43 名、計 91 名

(4) 第 8 回膠原病をめぐって患者・医療関係者交流会（平成 25 年 10 月 20 日、ハートピア京都）

講演 ①「膠原病と肺」—よりよい理解の上で、日常生活を！—

②「膠原病・サルコイドーシスと心臓」

参加 患者及び付添者 33 名、その他 2 名、本財団スタッフ 35 名、計 70 名

2. 研究業績

本財団職員が定款の目的を達するために、平成 25 年度に行なった研究の業績及びそれに係る刊行物は別紙 1 の通りである。

報告事項（その他）

1. 理事会及び評議員会の開催状況

(1) 平成 25 年 5 月 10 日：理事会

(2) 平成 25 年 5 月 25 日：定例評議員会（H24 年度事業報告及び決算並びに理事選任）

(3) 平成 25 年 5 月 25 日：理事会（代表理事及び業務執行理事選任）

(4) 平成 25 年 6 月 5 日：上記決議に基づき理事変更を登記

(5) 平成 25 年 6 月 19 日：平成 24 年度事業報告書及び同決算書、理事変更届を京都府へ提出

(6) 平成 25 年 11 月 12 日：理事会（平成 25 年度上期決算の報告）

(7) 平成 26 年 1 月 23 日：公益法人立入検査（京都府）

新制度移行登記の日から検査直前に終了した事業年度に係る組織運営・経理全般の書類について検査を受けた。（重大な瑕疵はなく、口頭による指導が 4 点あった。）

(8) 平成 26 年 3 月 1 日：理事会（平成 26 年度事業計画及び予算）

(9) 平成 26 年 3 月 26 日：平成 26 年度事業計画及び同予算書を京都府へ提出

2. 施設認定の取得状況

平成 26 年 2 月 27 日、公益社団法人全国労働衛生団体連合会（以下全衛連）の労働衛生サービス機能評価認定を受けた。

3. 職員の研修状況

- (1) 外部研修・講習：全衛連等の行う精度管理事業研修・講習に職員を参加させ（20 件）、技術水準及び精度管理の向上に努めた。（別紙 2 参照）
- (2) 内部研修・講習：医療保険サービスの研鑽として、本財団主催による専門委員会活動や、技術水準向上を目指した所内研修・講習（10 件）を行った。（別紙 3 参照）

4. その他本財団の目的達成に必要と認める一切の事業

- (1) 中央診療所の施設について、必要に応じて改修または修繕を行い、受診者へのサービスの向上並びに業務の効率化促進を図った。
- (2) 診療用放射線設備として、①日立超音波診断装置一式 ②富士レントゲン画像デジタルシステム一式 ③CT スキャナー16 列を購入し、診療の効率化、精度向上を図った。
- (3) 人間ドック、各種健康診断の会計管理システムを更新した。
- (4) 公益法人に伴い、会計システムについても新公益法人会計基準（平成 20 年度改正基準）を実行した。

【別紙 1】

平成 25 年度研究業績一覧

(1) 学会発表・講演

- ・ 泉 孝英：明治期ドイツ医学留学生．岡山医学史研究会 2013. 8. 11. 高梁市
- ・ 泉 孝英：COPD－チバ・ゲスト・シンポジウムから 55 年－. Scientific Exchange Meeting in MIE, 2013. 11. 5. 津市
- ・ 泉 孝英：世界一幸せな国デンマーク－日本で実現できるか－. 京都中ロータリークラブ 第 1002 回例会, 2014. 2. 10. 京都市
- ・ Nagai, S. Sarcoidosis. Clinical courses and therapeutic topics. 3rd International Symposium on ILD, 2013, 6. 8. Seoul, Korea
- ・ 長井苑子：(特別講演)慢性の病気 サルコイドーシス 病気の理解と付き合い方. サルコイドーシス医療講演会 (京都府山城北保健所). 2013. 7. 25.
- ・ 長井苑子：(特別講演)特発性間質性肺炎について －病気、治療、生活上注意すべきことは－. 難病医療講演会 (奈良市保健所), 2013. 8. 2.
- ・ 長井苑子：(特別講演)サルコイドーシスの理解 治療と療養生活について. 保健所広域講演会 (大阪府高槻保健所), 2013. 8. 2.
- ・ 長井苑子：(特別講演)肺高血圧の診断と治療の現状. 第 9 回広島肺高血圧研究会, 2013. 9. 11. 広島市
- ・ 長井苑子：(症例報告)ピレスパ投与後、5 年間の経過をみた慢性型間質性肺炎 4 症例. 第 5 回 IPF フォーラム 2013. 9. 18. 京都市
- ・ 長井苑子：(シンポジウム)メトトレキサート併用治療について 第 33 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患 学会総会 2013. 10. 26. 東京
- ・ 長井苑子：(特別講演)サルコイドーシス 病気の理解と生活上の注意点. 枚方市保健所講演会 2013. 11. 21.
- ・ 長井苑子：(特別講演)サルコイドーシスにおける肺高血圧症 第 178 回東京サルコイドーシス/肉芽腫性疾患研究会 2013. 12. 7. 東京
- ・ 長井苑子：(特別講演)肺高血圧の診断と治療 間質性肺疾患・膠原病との並存 第 2 回沖縄肺高血圧症研究会, 2014. 2. 8. 那覇市
- ・ 長井苑子：(教育講演)在宅酸素療法と呼吸器疾患 帝人在宅医療(株)京都支店社内講演会, 2014. 2. 14. 京都市

(2) 総説・論説

- ・ 泉 孝英：サルコイドーシス病因論と研究の歴史(特集：サルコイドーシスのすべて). 成人病と生活習慣病 43(10):1181-1187, 2013.
- ・ 泉 孝英：日本の医療の妥当性を検証する(医見異見). Medical Asahi(11月号):74 - 75, 2013.
- ・ 泉 孝英：(日新月歩)喘息配合剤(吸入ステロイド薬/吸入長時間作用型 β_2 刺激薬)の現況. 日臨内会誌 28(4):454, 2013.

- ・ 泉 孝英:(炉辺閑話)医学部新設を論ずる前に. 日本医事新報 (4680):88-89, 2014.
- ・ 長井苑子:特発性間質性肺炎の診断と治療の進歩. 特発性間質性肺炎の予後 (IPF, NSIP) . 日本胸部臨床 72(増)87-92, 2013.
- ・ 長井苑子:サルコイドーシス治療におけるメトトレキサートの位置づけ. 呼吸器内科 24(3): 232-235, 2013.
- ・ 長井苑子:呼吸器疾患に関連した肺高血圧症. 京 Kyo (177):12-20, 2013.
- ・ 泉 孝英:B呼吸器疾患 6 肺結核, 7 非結核性抗酸菌症, 11 間質性肺炎(特発性、膠原病性), 14 その他のまれな呼吸器疾患. 日本臨床内科医会編:内科実践マニュアル 使い加減とさじ加減. 97-100, 124-125, 132-133, 日本医学出版, 東京, 2013.
- ・ 長井苑子:2. 治療関連. 8) IIPs の予後 (IPF, NSIP). 特発性間質性肺炎—この10年の進歩と今後の課題. S87-S92, 日本胸部臨床 72(増): 2013.
- ・ 長井苑子:3 特殊病態の治療 3) 合併肺高血圧症. 杉山幸比古編:特発性間質性肺炎の治療と管理. 122-128. 2013.
- ・ 長井苑子:どのような経過をたどりますか? 杉山幸比古監, 山口哲生, 四十坊典晴編:サルコイドーシス診療Q&A集 7-10, 2014.

(3) 原著

- ・ Aihara K, Handa T, Oga T, Watanabe K, Tanizawa K, Ikezoe K, Taguchi Y, Sato H, Chin K, Nagai S, Narumiya S, Wells AU, Mishima M. Clinical relevance of plasma prostaglandin F2 α metabolite concentrations in patients with idiopathic pulmonary fibrosis. PLoS One. Jun 11;8(6):e66017. 2013.
- ・ Tanizawa K, Handa T, Nakashima R, Kubo T, Hosono Y, Aihara K, Ikezoe K, Watanabe K, Taguchi Y, Hatta K, Oga T, Chin K, Nagai S, Mimori T, Mishima M. The prognostic value of HRCT in myositis-associated interstitial lung disease. Respir Med. 107(5):745-52. 2013.
- ・ Nagai, S, Yokomatsu T, Tanizawa K, Ikezoe K, Handa T, Ito Y, Ogino S, and Izumi T. Treatment with methotrexate and low-dose corticosteroids in sarcoidosis Patients with Cardiac Lesions. Internal Med 53(5):427-433, 2013.
- ・ Tanizawa K, Handa T, Nagai S, Sato H, Yamada R, Ito I, Kubo T, Ito Y, Watanabe K, Aihara K, Ikezoe K, Mishima M, Izumi T. Interferon regulatory factor 5 polymorphisms in sarcoidosis. Mod Rheumatol. 23(6):1158-1165, 2013
- ・ Ikezoe K, Handa T, Mori K, Watanabe K, Tanizawa K, Aihara K, Tsuruyama T, Miyagawa-Hayashino A, Sokai A, Kubo T, Muro S, Nagai S, Hirai T, Chin K, Mishima M. Neutrophil gelatinase-associated lipocalin in idiopathic pulmonary fibrosis. Eur Respir J. 2014 Feb 20. (3) 分担執筆

(4) 随筆

- ・ 長井 苑子, 泉 孝英:文学に見る病と老 74 村上 龍「55 歳からのハローライフ」 Pharma Medica 31(4):158-163, 2013.

- ・長井 苑子, 泉 孝英 : 文学に見る病と老い 75 幸田 文「終焉」Pharma Medica 31(6):170-175, 2013.
- ・長井 苑子, 泉 孝英 : 文学に見る病と老い 76 徳永 進「野の花ホスピスだより」Pharma Medica 31(8):130-134, 2013.
- ・長井苑子, 泉 孝英 : 文学に見る病と老い 77 アンヌ・フィリップ「母、美しい老いと死」Pharma Medica 31(10):204-208, 2013
- ・長井苑子, 泉 孝英 : 文学に見る病と老い 78 山田 太一「空也上人がいた」Pharma Medica 31(12):176-183, 2013
- ・長井苑子, 泉 孝英 : 文学に見る病と老い 78 ディケンズ「クリスマスキャロル」Pharma Medica 32(2):162-167, 2014

(5) その他

- ・泉 孝英 : Om P. Sharma 先生追悼記. 日サ会誌 33(1):1-3, 2013.
- ・Izumi, T: Letter to Om. Sharma Maggie ed. Festschrift in Honor of Om P. Sharma, MD, FRCP. 114-115, 2013.
- ・Sonoko, N: Letter from Japan. Maggie ed. Festschrift in Honor of Om P. Sharma, MD, FRCP. 167-168, 2013.

【別紙 2】

職員の研修状況

実施年月日	主催	会合名	参加人数	会場
H25. 5.28	一般社団法人京都府臨床検査技師会	甲状腺疾患の診断と検査	3名	京都保健衛生専門学校
H25. 5.30	一般社団法人京都府臨床検査技師会	ルーチン検査を身につけようー心エコー・血管エコー	4名	京都保健衛生専門学校
H25. 6.27	一般社団法人京都府臨床検査技師会	腹部超音波研修会「初級から中級へのステップアップ」	2名	京都保健衛生専門学校
H25. 6.28	一般社団法人京都府臨床検査技師会	肺機能検査研修会「肺機能検査基礎」	1名	京都保健衛生専門学校
H25. 7. 2 ～9.19	社会福祉法人京都府社会福祉協議会	平成25年度京都府介護支援専門員更新研修 ・講義研修：7/2,3 ・演習研修：7/30,31,9/10,11 ・介護予防：9/19	1名	みやこめっせ ルビノ京都堀川 京都テルサ
H25. 7. 6	一般社団法人京都府臨床検査技師会	尿沈渣基礎勉強会（円柱類・血球類）	4名	京都保健衛生専門学校
H25. 7. 16	全衛連 （幹事機関 公益財団法人 京都健康管理研究会）	平成25年度 第1回全衛連近畿地方協議会	6名	ホテルモントレ 京都
H25. 7.31	京都膠原病と肺循環研究会, アクテリオン㈱共催	第1回京都膠原病と肺循環研究会	3名	京都国際ホテル
H25. 8. 6	京都府公安委員会	安全運転管理者講習	1名	京都 J A 会館
H25. 8.29	全衛連	施設認定実務責任者研修会	1名	三田NNホール （東京・港区）
H25. 9.12	京都府保険医協会	医院・診療所での接遇マナー研修会	2名	京都府保険医協会
H25.11.29	京都循環器検査研究会	ちょっと知っておくと得するモダリティ	2名	京都保健衛生専門学校
H25.11.29	全衛連	平成25年度全衛連運営研究協議会	2名	メルパルク大阪
H26. 1.17	公益財団法人日本適合性認定協会	J A B 試験所審査員研修会	1名	きゅりあん(東京・品川区)
H26. 2.14	京滋血管診療フォーラム, 大塚製薬㈱共催	血管外科医の立場からみた血管検査	1名	ホテルグランヴィア京都
H26. 2.14	全国健康保険協会京都支部	生活習慣病予防健診実施機関会議	2名	京都テルサ
H26. 2.23	京都芸術家協会, 京都芸術家国保共催	健康づくり出前セミナー	1名	京都平安ホテル
H26. 3.7	全衛連 （幹事機関 公益財団法人 京都健康管理研究会）	平成25年度 第2回全衛連近畿地方協議会	6名	京都ホテルオークラ
H26. 3.24 ～25	京都府医師会	平成26年度診療報酬改正説明会	3名	国立京都国際会館
H26. 3.27	近畿厚生局, 京都府共催	平成26年度改定時集団指導	1名	国立京都国際会館

【別紙 3】

内部研修・講習

実施年月日	所内研修・講習の内容	出席者	会場
H25. 4.16	月例研修会, 講演: 人々の暮らし, 当所近隣の人々の暮らしと民生児童委員の活動について	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H25. 5.22	月例研修会, 講演: 体の中を画像で見る—画像診断の進歩と現在	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H25. 7.17	月例研修会, 講演: 熱中症の話 熱中症発生の実態とその原因, 効果的な予防対策など	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H25. 8.20	月例研修会, 講演: 電気のお話 電気エネルギーに関する講習	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H25. 9.17	月例研修会, 講演: 精密検査, 再検査について 健康診断で異常所見を検出された方に対する生活指導, 診断の確定, 治療方針決定, 経過観察など	所内スタッフ	中央診療所 5F研修会場
H25.10.15	月例研修会, 講演: フィンランドの原子力とエネルギー エネルギー先進国の取り組みと感染性廃棄物への対応	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H25.11.19	月例研修会, 講演: 気管支と肺のお話—喘息、タバコ病 (COPD), 気管支, 肺を刺激する環境因子など	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H25.12.17	月例研修会, 講演: 地球環境問題をさぐる—地球温暖化は本当か? 温暖化, 小氷河期の話など環境問題について	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H26. 1.21	月例研修会, 講演: 世界一幸せな国デンマーク—日本で実現できるか 社会保障先進国の現実, 日本の医療・健康診断について	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H26. 2.18	月例研修会, 講演: 三条通景観—その歴史と保全をめぐる 平安時代の三条大路, 豊臣秀吉による三条大橋架橋, 明治時代の洋風建築, 現代の景観保全など	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場